



MS344-22001・MS344-22002 サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はマークX用TRDサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDサイドスカートの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は、車両登録後に取付けを行ってください。
登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要になります。

■品番・適合一覧表

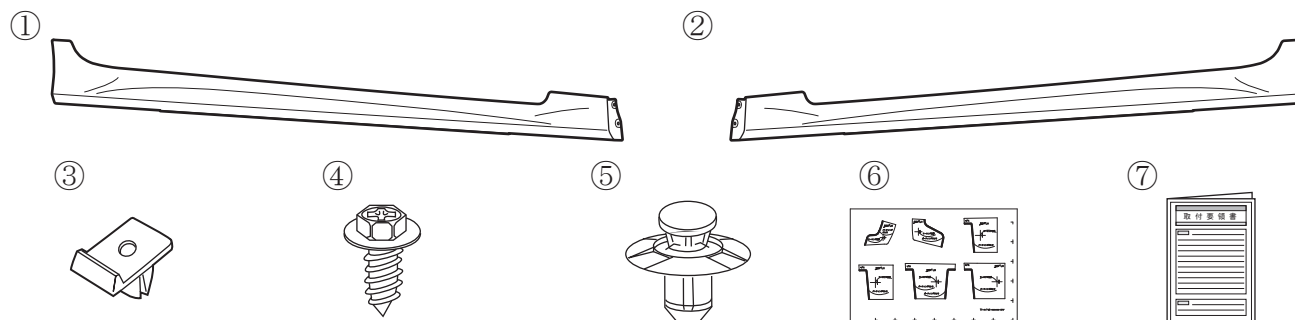
品番	塗装色	備考
MS344-22001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (062)	GRX130/133/135 } '12.08~ PREMIUMを除く全車
MS344-22001-C0	ブラック (202)	
MS344-22002-00	未塗装品 (プライマー処理品)	

■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	サイドスカート RH		1	
②	サイドスカート LH		1	
③	グロメット		8	
④	タッピングスクリュー		8	6×16
⑤	クリップ		4	
⑥	型紙		1	
⑦	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS344-22002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	品番	個数	備考
⑧	モール		(各2)	黒/グレー L=2200mm
⑨	PACプライマー		1	K-500



以下、MS344-22002-00 (未塗装品セット) のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- 確認

本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。
-  注意

本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  注意

本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  警告

取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  警告

エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  警告

本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  注意

本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  確認

本商品は過去に事故歴のない車に、確実に装着が可能です。
-  注意

未塗装品セット (MS344-22002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  注意

未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  注意

焼付け塗装の際に、焼付温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが生じますので、焼付温度には十分にご注意ください。
-  注意

本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  注意

車両部品の取外しに際し、クリップ等の紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  注意

車両部品の脱着および車両へのサイドスカート の取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
- また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  注意

外気温度が15℃以下の場合は、両面テープの接着力が低下しますので、テープ部及び取付面をドライヤー等で約40℃前後に加温してから取付けてください。
-  警告

取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト類を十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  警告

取付け初期は、ボルト類が緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  警告

取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  警告

本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちに使用をお止めください。
-  警告

走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。
- そのまま走行を続けますと、車両の破損や事故の原因となります。
-  警告

本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  警告

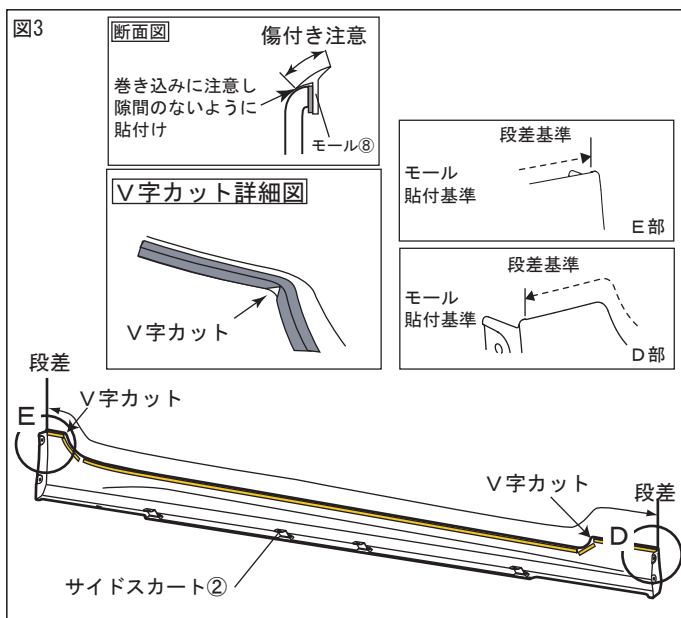
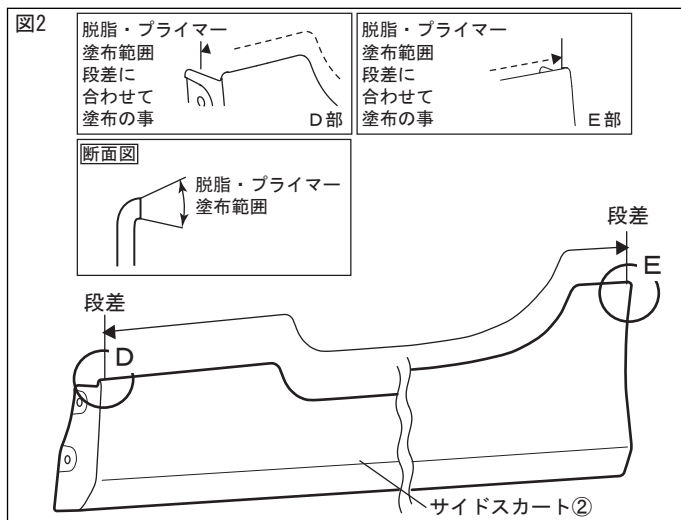
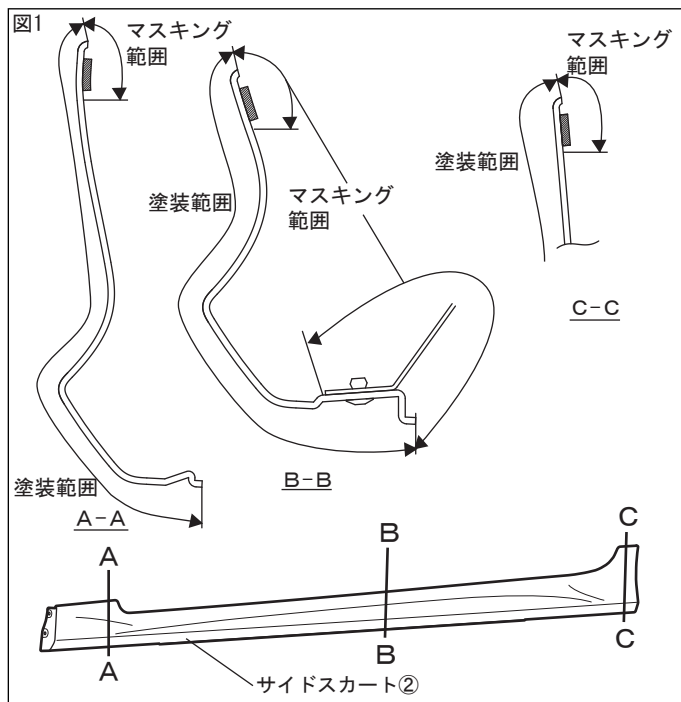
本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  注意

お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  注意

取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
- 上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS344-22002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカートの塗装

1. サイドスカート②を塗装します。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：焼付け塗装の際、焼付温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、焼付け温度には充分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑨を塗布します。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

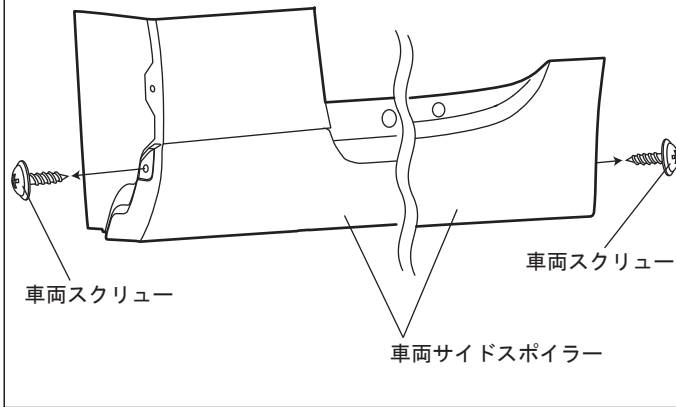
2. 図3のようにサイドスカート②に、モール⑧の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け {49N (5 kg f) 以上} 圧着します。
モール⑧は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とします。

△注意：モール⑧は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

⚠注意：モール⑧に切り欠き等を入れる時はサイドスカート②表面から見える箇所を傷付けないように注意してください。

図4



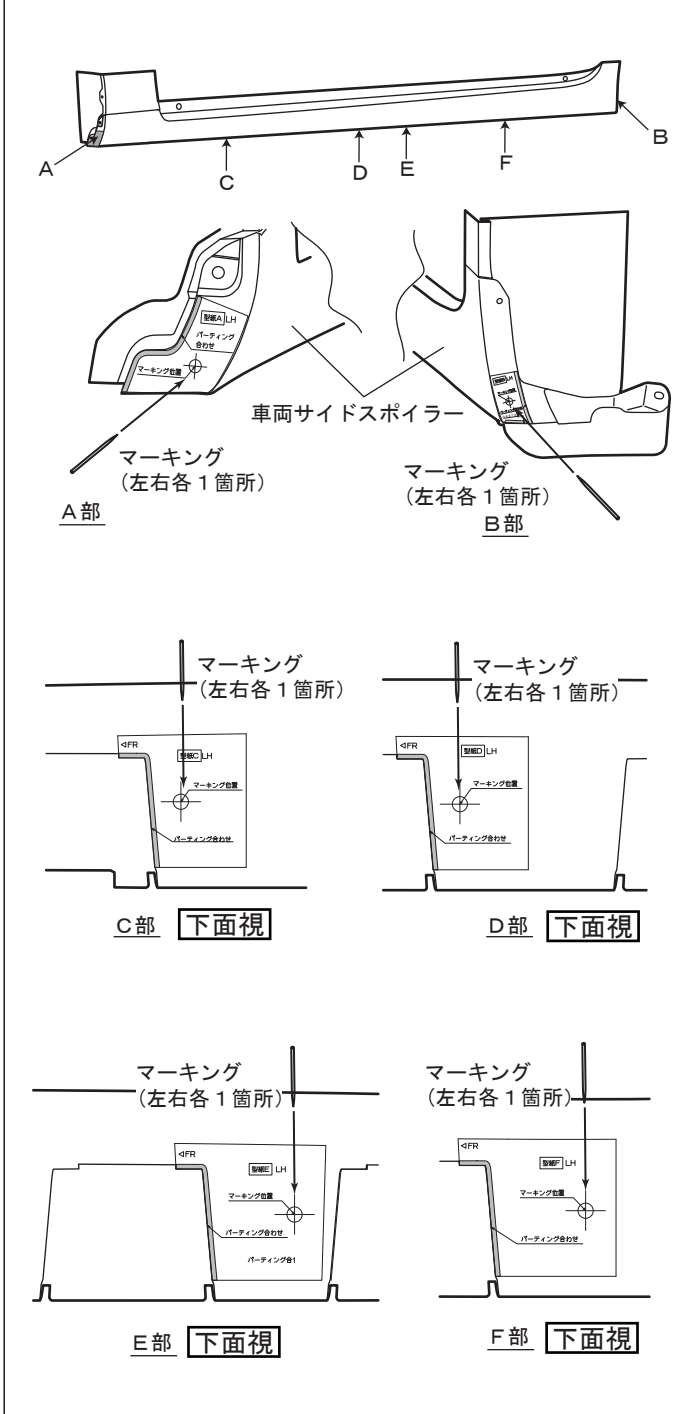
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

□取付準備

1. 図4のように前後ホイールハウスの車両スクリュー（左右各2箇所）を取外します。

⚠ 注意：取外した車両クリップは再使用しますので無くさない様に必ず保管してください。

図5



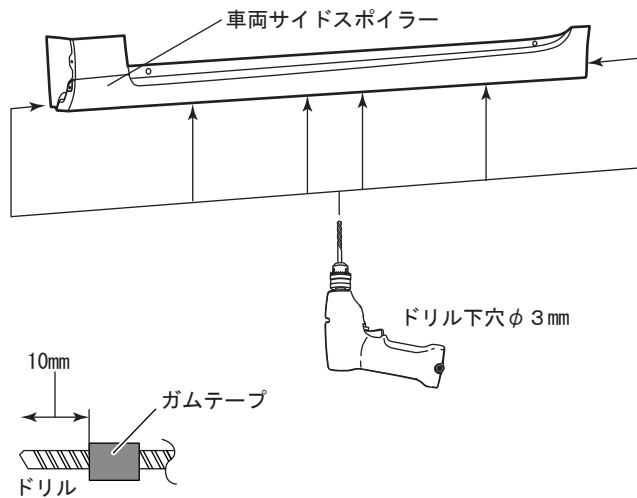
2. 型紙⑥から型紙A、型紙B、型紙C、型紙D、型紙E、型紙Fを切り抜きます。

3. 図5のように型紙Aの斜線部を前輪側ホイールハウス部の形状、型紙Bの斜線部を後輪側ホイールハウス部の形状、型紙C、型紙D、型紙E、型紙Fの斜線部をそれぞれ下面形状に合わせてマスキングテープで貼り付けます。

4. 型紙A、型紙B、型紙C、型紙D、型紙E、型紙Fの穴位置をマーキングします。

⚠ 注意：型紙⑥は反転しRHにも使用しますので破かないで下さい。
図5はLHを示しています。

図6

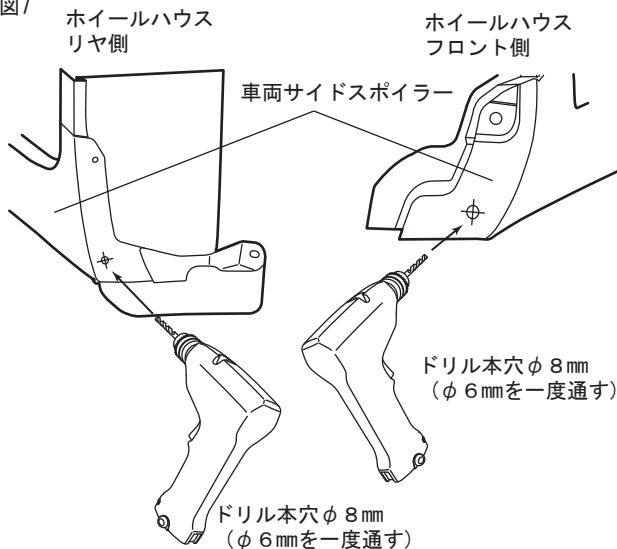


5. 図6のようにφ3、φ6、φ8、φ10のドリル先端にストッパーになるようガムテープを巻き付け、φ3のドリルを使用して全てのマーキング位置に下穴を開けます。
(左右各6箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。

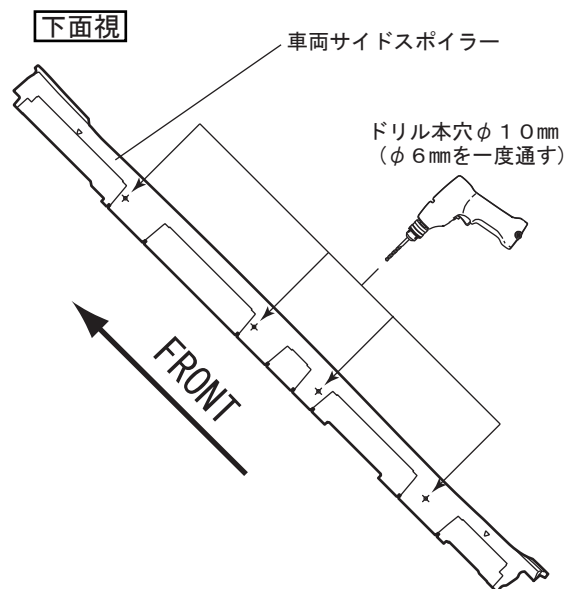
図7



6. 図7のように前後ホイールハウス部の下穴にφ8mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除きます。
(左右各2箇所)

注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

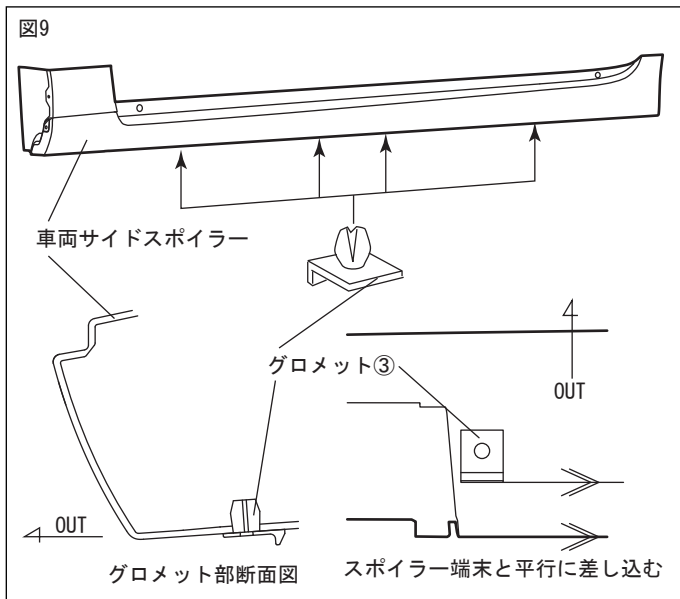
図8



7. 図8のようにサイドシルの下面の下穴にφ10mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除きます。
(左右各4箇所)

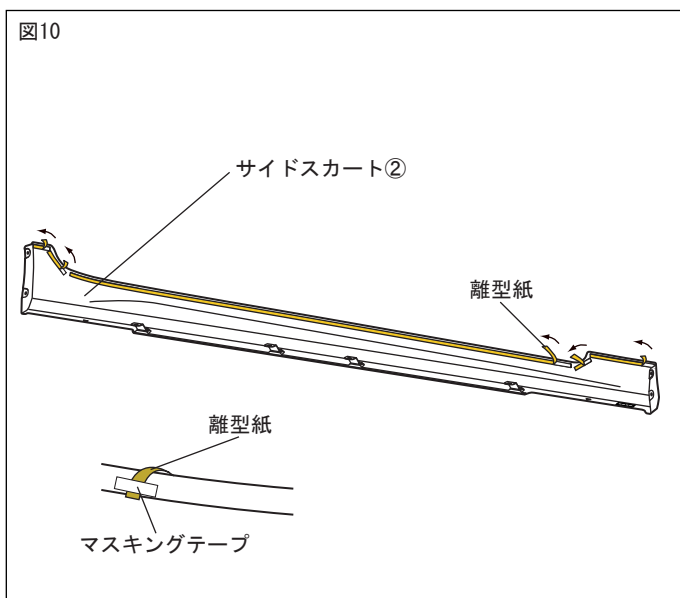
注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図9



8. 図9のようにサイドシル下面の開けた穴にグロメット③を差し込む向きに注意しながら差し込んでいきます。
(左右各4箇所)

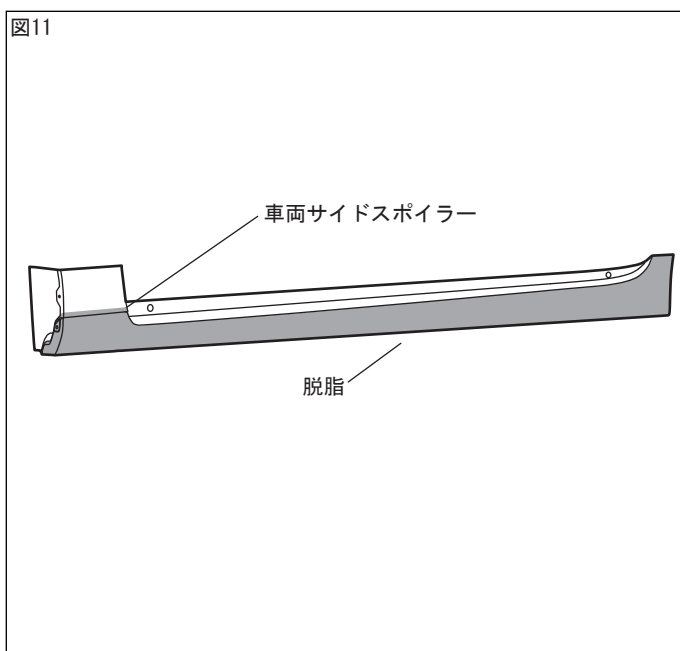
図10



9. 図10のようにサイドスカート②の両面テープの離型紙を、前輪側ホイールハウスから後方に向かって約30mm剥がし、マス킹テープ等で表側に貼付けます。
(左右各5箇所)

⚠ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図11

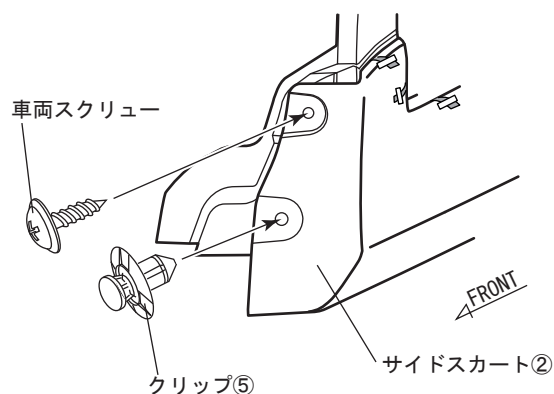


10. 図11のように車両サイドスポイラーのサイドスカート②取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂します。

⚠ 警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください

⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図12



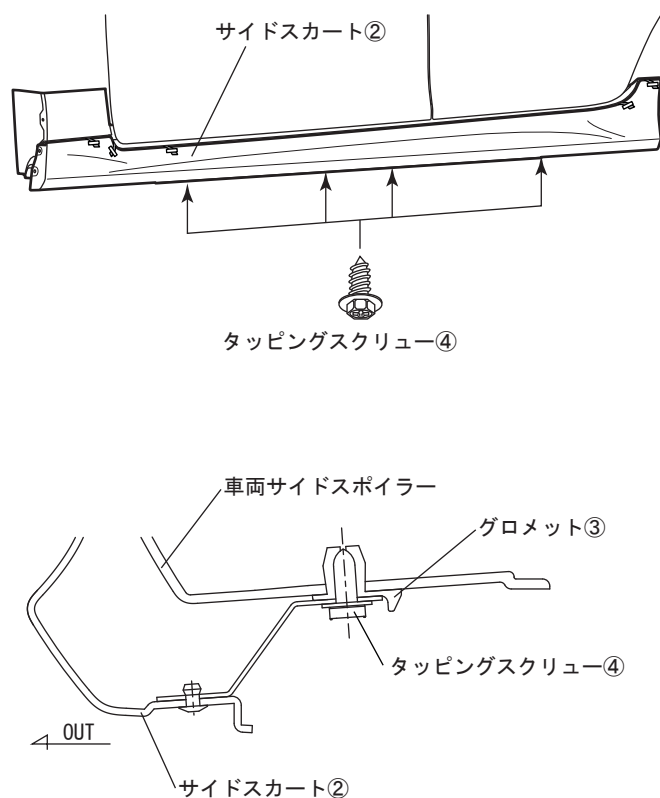
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

□取付要領

1. サイドスカート②を車両サイドスポイラーにかぶせ、前側ホイールハウスの下側の穴をクリップ⑤（左右各1箇所）にて固定し、上側の穴を車両スクリュー（左右各1箇所）にて、仮締めします。

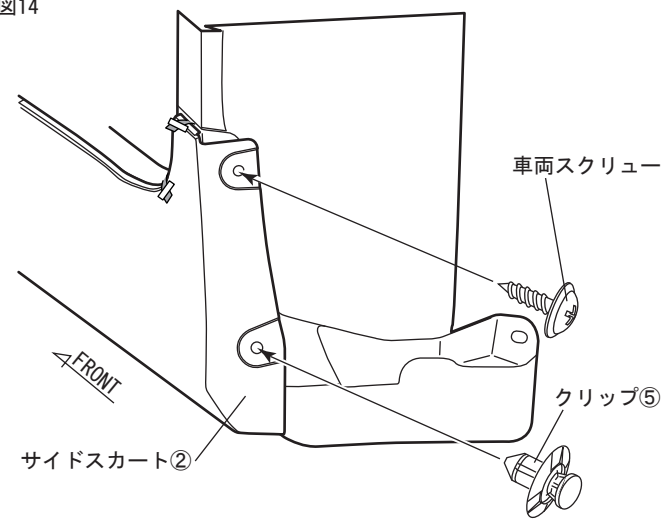
△注意：サイドスカート②の取付け作業時は車両サイドスポイラーにキズをつけないように注意して行ってください。

図13



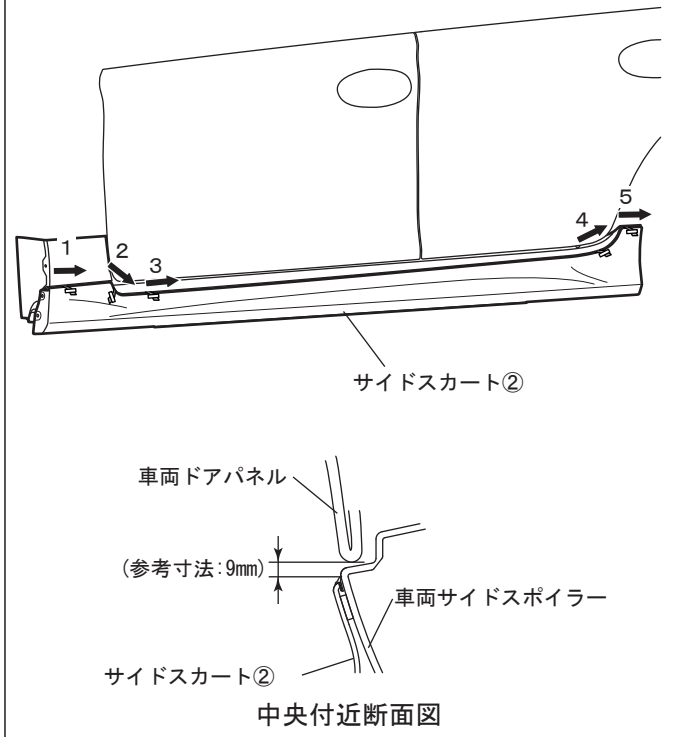
2. サイドスカート②の下面をタッピングスクリュー④（左右各4箇所）にて仮締めします。

図14



3. サイドスカート②の後側ホイールハウスの下側の穴をクリップ⑤（左右各1箇所）にて固定し、上側の穴を車両スクリュー（左右各1箇所）にて仮締めします。

図10



※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

4. サイドスカート②と車両サイドスポイラーにスキが無いを確認し、両面テープの離型紙(5箇所)を左図番号順に剥がしながら貼付け{49N(5kgf)以上}圧着します。

⚠注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

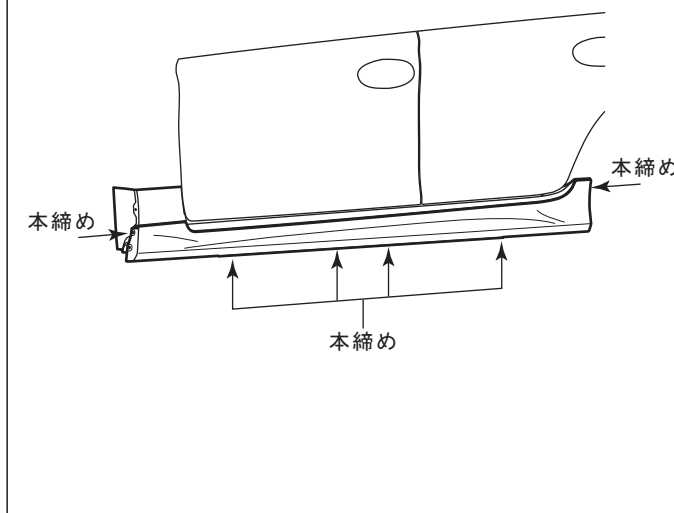
⚠注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図11



5. 仮締めしておいた車両スクリュー(左右各2箇所)とタッピングスクリュー④(左右各4箇所)でサイドスカート②を本締めします。

⚠注意：リヤ側ホイールハウス部に隙間がある場合は、隙間にワッシャー等を入れてください。隙間のある状態で締めつけると、浮きが発生する恐れがあります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検してください。
2. サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。